

2学年通信

第11号
2014年1月7日発行

あけましておめでとうございます

さあ、いよいよ2014年が始まりました。今年は高校の最高学年となって1年間を過ごしていくことになります。高校3年生というと、どうしても受験！勉強！などのキーワードが頭に浮かびそうですが、学習だけでなく、部活動、人間性など様々なことにおいて成長できる1年であると思います。その意識を持ってこの1年間を送ってほしいと思います。

■■ 人間性 ■■

「2学年通信第9号」で「**■みんなが気持ちよく学校生活を送るために**」の内容を掲載しました。忘れていた人は見直してください。その後の皆さんの日常生活における行動に変化は出てきているでしょうか。12月にいじめの実態調査を行いました。今後も実態調査を続けていく予定ですが、その前に「いじめ」がどのようなものか、正しい認識を持ってもらうために「いじめ」についての内容を掲載しておきます。

2学年通信第9号のQRコード



① まずは「いじめの定義」から

「文部科学省のいじめの定義」は以下のように変更されています。

平成18年度から（新定義）

- ① 当該児童・生徒が、一定の人間関係にある者から、
- ② 心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、
- ③ 精神的な苦痛を感じているもの。

平成17年度まで

- ① 自分より弱いものに対して一方的に、
- ② 身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、
- ③ 相手が深刻な苦痛を感じているもの。

また、昨年（平成25年）9月28日に「いじめ防止対策推進法」が施行され、いじめを次のように定義しています。

第2条（定義）

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。

※ 個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は

いじめられたとする生徒の気持ちが重要

② インターネット上の書き込みはだいじょうぶ？

たくさんの人が見ることができるネットに、悪意のある書き込みや投稿をするとどんなことになるのだろう。短期間で極めて深刻になる場合もあるし、相手に大きな苦痛を与え、その人の人生も変えてしまうような事態になることも。自分のことが書かれていたらどういう気持ちになるか考えてみよう。

右の文章はいじめを苦に自殺した北海道の小学6年生の遺書の一部です。とても悲しいことですね。

学校みんなへ

この手紙を読んでいるということは私が死んだと言うことでしょう。私はこの学校や生とのことがとてもいやになりました。それは3年生のころからです。なぜか私の周りにだけ人がいないんです。5年生になって人から「キモイ」と言われてとてもつらくなりました。（以下略）

「うざい」「キモイ」「しゃべるな」「あっち行って」などの言葉を簡単に、平気に、軽く言う人がいます。言っている人は日常的な言葉として使っているのかもしれませんが、自分が言われても何も感じないのかもしれませんが、ほとんどの人はその言葉で嫌な気持ちになります。場合によっては学校に登校できなくなったり、心の病になったり、命を落とすこともあります。

絶対に汚い言葉は使わない。周りを不快にさせます。
それを強く自覚すること。

③ そして、インターネット上の発言も罪になる

姿が見えないからといって「言いつばなし」は通用しない。たとえ面白半分のつもりでも、多くの人が見て騒ぎになるような投稿や書き込みは犯罪になり、未成年者でも逮捕されている。例えば、特定の個人への悪口や中傷は「名誉毀損罪」（刑法230条）や「侮辱罪」（刑法231条）などの対象になる。

他の書き込みを組み合わせれば、個人がわかってしまうことも

自分のやったことだと分からないだろうと思っても、複数のサイトのプロフィール情報、ページのリンク先や検索結果等から個人がある程度わかることがある。また、誰のしわざか気づいている人がネットに書き込み、バレしてしまうことも多い。

警察が調べなくてもこうやって個人がわかることがあり、次はやられる側になってしまうことも。もちろん、警察が調べればもっと個人が特定できる。考えてみて！ネットは通信記録が残っているから、メールを集中して送ったり、掲示板で悪口を書いたり、悪質な画像を掲載したりする人を追跡できるんだ、大変なことになる前に気がつかなきゃね。誰がやったのかばれないなんてありえない！

【②③の内容の一部は文部科学省のリーフレット「ちょっと待って、ケータイ&スマホ」より引用】

④ いじめは加害者・被害者だけの関係ではない

「観衆」や「傍観者」はいじめに大きな影響を与えます。

「観衆」…はやしたてたり面白がったりする存在（いじめをエスカレートさせる）

「傍観者」…周囲で暗黙の了解を与えている存在（いじめを暗黙的に支持している）

もし、いじめがおきていたら、皆さんには「観衆」にも「傍観者」にもならず、先生に報告や相談するなど、いじめを止める存在になってほしいです。

とにかく相手を思いやる気持ち。
これは、人生を送る上でものすごく大切なことだと思います。

裏に続く

■■ 学 習 ■■

右に示すように、3月までの学習面におけるスケジュールです。3月までの日程だけでも考査や模試が立て続けに予定されています。**やっただつもりにならず**、学習内容を理解する勉強方法を心がけていきましょう。

3年生になると、補習も多く実施されるようになります。**補習に参加すると勉強した気になったり**しますが、一番重要なのは自分で学習できるかどうか（自学自習）です。**補習はそれを手助けするもの**であることをしっかりと認識してください。**自学自習がない状態で補習に参加しても、その効果は期待できません。**

本模試(全員)
8日(火) 中間考査

一ク模試
(四大進学希望者)
学年末考査

年末考査
各別説明会
業生進路講話
業式



■■ 部活動 ■■

3年生が引退し、すでに皆さんはその部を引っ張っていくべき存在となっています。下級生さらには新生の手本となるような存在でなければなりません。その**競技等における手本**はもちろんのこと、**学習に対する手本**、**日常生活面に対する手本**。それら全てに全力で取り組むことができこそ強いチーム・選手等になっていくのだと思います。これからの柏崎常盤高校の部活動の伝統を守り、発展させていくのは、間違いなく皆さんです。その自覚を持って今後の部活動に取り組んでいってください。

